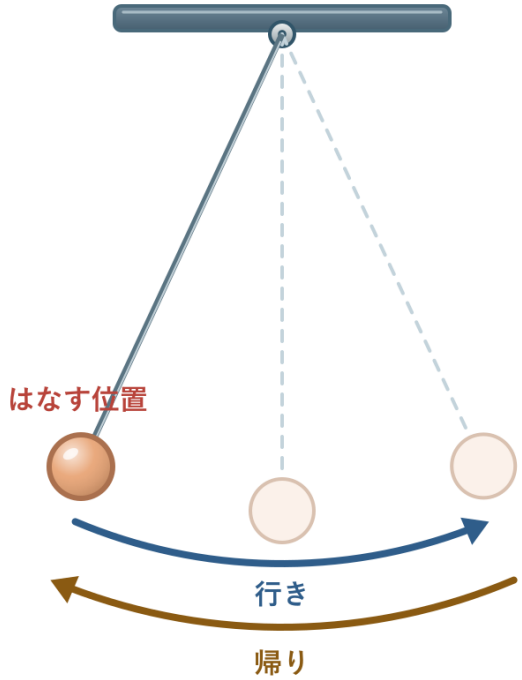
振り子の1往復の時間のはかり方

1往復の時間は短くてはかりにくい。正確に求めるには、どうはかればよいだろう

1 1往復とは



はなした位置にもどるまでで、1往復

2 10往復の時間をはかる

1. 手をはなすと同時に、ストップウォッチをおす。（はなしたときが「0」）



2. もどってくるたびに数え、10回目にもどった所で止める。



3. 10往復の時間を10でわると、1往復の時間になる。 **÷10**

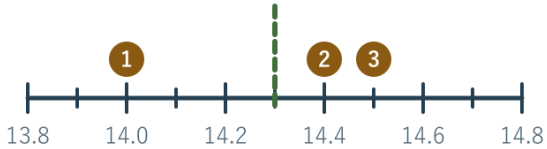
なぜ10往復をはかるの？

1往復は短く、ボタンをおすおくれが大きくひびく。10往復をはかって10でわると、おくれのえいきょうも10分の1になる。

3 3回はかって平均する

10往復の時間（例）

1. 1回目　14.0秒
2. 2回目　14.4秒
3. 3回目　14.5秒



平均 14.3秒

平均

（14.0＋14.4＋14.5）÷3＝14.3秒

1往復の時間　14.3÷10＝1.43秒

はかるたびに少しずつちがうので、何回かはかって平均する。

はかるときの注意

- ふれはばを大きくしすぎない
- 3回とも同じやり方ではかる（はなす位置・数え方）

! 安全のために

周りに人がいない所でふる。

おもりが人や物に当たらないようにする。

※ 模式図。数値は例で、はかる人や振り子によってちがう。完全な操作手順ではない。